

5月

新着図書

問題。

著者名： 早見和真
出版社： 朝日新聞出版

小学6年生の十和は、家族の幸せの形がわからない。楽しい母、やさしい父、かわいい妹。それなのに、どうして心がこんなに荒むのか。苛立つ十和に対して、母はなかば強引に中学受験を決めてしまう。このわだかまる気持ちをぶつけられるのは、LINEで繋がる「あの人」だけだー。ここから逃げ出したい。その思いは大阪で一人暮らし祖母へと向かい、十和は大阪の私立中学に進む決意をする。4人が離れて暮らすことに父は反対するが、あることを条件に十和の希望を受け入れるのだった。

珈琲怪談

著者名： 恩田 陸
出版社： 幻冬舎

なんか、怖い話ない？
異界が覗き、怪異の似合う古い街。
男たちが喫茶店に集ってすること、とはー。
男子会で、ホラーをダベる。京都、横浜、東京、神戸、大阪、再びの京都ー。なぜ多忙な四人の男たち（外科医、検事、作曲家、音楽プロデューサー）は、わざわざ遠出して喫茶店を何軒もハシゴしながら、怪談を披露し合うのかー。そして、いつも茫洋としているが、気づくとなにか肝心なことをぼそっと呟く塚崎多聞とは誰なのか？

逃亡者は北へ向かう

著者名： 柚月 裕子
出版社： 新潮社

震災さえなければ、この人生は違ったのだろうか？
大震災直後に殺人を犯し、死刑を覚悟しながらもある人物を探すため姿を消した青年。自らの家族も被災した一人の刑事が、執念の捜査で容疑者に迫る。壊れた道、選べなかった人生ー混沌とした被災地で繰り広げられる逃亡劇！ 『孤狼の血』『盤上の向日葵』の著者が地元・東北を舞台に描く震災クライムサスペンス。

墳墓記

著者名： 高村 薫
出版社： 新潮社

老いて死に瀕した一人の男が、意識の塊と化して長い長い仮死の夢を見る。そこに沸き立つのは高らかな万葉びとの声、野辺送りの声、笑い転げる兎や蛙の声、源氏物語や伊勢物語の声、古今・新古今の歌の声、都を駆けるつわものたちの声、そして名もなき女たちの声ー。古文と現代文の自在な往還を試みた渾身の長編小説。

猫の刻参り 三島屋変調百物語拾之続

著者名： 宮部 みゆき
出版社： 新潮社

化け猫、河童、そして山姥ー狂気に塗れた苦界を生き抜く女と、化生の者どもが織りなす怪奇譚。江戸は神田三島町にある三島屋の次男坊富次郎は、変わり百物語の二代目聞き手。飼い主の恨みを晴らす化け猫、命懸けで悪党壊滅に挑む河童、懺悔を泣き叫ぶ山姥が登場する客人の身の上話を聞いている。一方、兄・伊一郎の秘密の恋人が出奔。伊一郎の縁談を巡って、三島屋は大騒動に巻き込まれてしまう……。

星の教室

著者名： 高田 郁
出版社： 角川春樹事務所

主人公の潤間さやかは、中学の卒業証書を受け取っていない。義務教育さえまともに終えていないという枷が、社会でも家庭内でも、さやかを生き辛くさせていた。しかし、ある日、さやかは夜間中学という存在を知る。それは、戦争や貧しさや病など、さまざまな事情で義務教育を終えられなかった大人たちの集う学校だった。二十歳の春、さやかは河堀夜間中学への入学を果たす。仲間たちに支えられて過ごす日々が、学校や親への不信で雁字搦めだったさやかの心を解きほぐしていく。やがて、さやかには密かに叶えたい、という夢が芽生え始めるのだが

それいけ！平安部

著者名： 宮島 未奈
出版社： 小学館

県立菅原高校の入学式当日、同じクラスになった平尾安以加から「平安時代に興味ない？」と牧原栞は声をかけられた。「平安部を作りたい」という安以加の熱意に入部を決めるが、新部を創設するには5人の部員が必要だった。あと3人（泣）!!
クラスメートから上級生まで声をかけ、部員集めに奔走するが――
「平安部って、何やるの？」

カフネ

著者名： 阿部 暁子
出版社： 講談社

最愛の弟が急死した。29歳の誕生日を祝ったばかりだった。姉の野宮薫子は遺志に従い弟の元恋人・小野寺せつなと会うことになる。無愛想なせつなに憤る薫子だったが、疲労がたたりその場で倒れてしまう。
実は離婚をきっかけに荒んだ生活を送っていた薫子。家まで送り届けてくれたせつなに振る舞われたのは、それまでの彼女の態度からは想像もしなかったような優しい手料理だった。久しぶりの温かな食事に身体がほぐれていく。そんな薫子にせつなは家